

広島記念病院を受診された患者さま、研究対象者のみなさまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

以下の臨床研究に関しては、個人情報情報を匿名化した上で学会、研究会等への利用を行わせていただいております。

内容をご確認いただき、研究対象者となることを希望されない方は各臨床研究の連絡先までご連絡ください。

研究課題名	膵体尾部切除での膵実質離断におけるprecompression法の有効性に関する多施設共同単盲検無作為化並行群間比較試験
研究責任者 (所属科名)	外科 橋本 泰司
本研究の目的・意義	膵体尾部領域疾患(膵体尾部癌、膵神経内分泌腫瘍、膵管内乳頭粘液性腫瘍、膵粘液性嚢胞腫瘍、転移性膵腫瘍などの腫瘍性病変や、慢性膵炎、腫瘍形成性膵炎などの炎症性疾患など)に対する(開腹又は腹腔鏡下)脾臓合併膵体尾部切除術において、自動縫合器による膵実質切断後の膵液瘻の発生率が、切断の直前に腸鉗子による10分間の膵実質の圧挫(Precompression)を行わずに切断した群に対し、圧挫を行って切断した群で有意に低下することを検証する。
研究予定期間	倫理審査委員会承認後～2024年9月30日
該当資料・データ	膵体尾部を領域疾患で脾臓合併膵体尾部切除術を受けられる患者さん
個人情報の取扱い	研究対象者の個人情報を保護するため、症例報告書をはじめとする書簡類はすねて氏名、カルテ番号を削除し匿名化を行います。研究対象者を識別するための対応表は、外部に提供することなく、また、研究発表の際には、個人が特定される情報を含みません。
共同研究機関	広島大学大学院 消化器外科 他計14施設
本研究の資金源(利益相反)	広島大学病院 運営交付金(この研究で利害関係が想定される企業・団体からの経済的な利益やその他の関連する利益は受けていません)
お問い合わせ先	広島記念病院 外科 橋本 泰司 082-292-1271